

Workstationのインストールおよび設定ファイル

概要

Workstationは、デスクトップおよびモバイルアプリケーションです。この記事では、組織内のWorkstationの導入プロセスについて説明します。

以下のガイドではWorkstationシステムがすでに使用可能で、IDPが設定されていることを前提としています。

この記事は、技術に精通していない従業員を対象に作成されました。ただし、ガイドを正常に完了するには、コンピュータの管理者権限が必要になります。

Workstationの導入に関するサポートが必要ですか？

[Workstationコンソールの「導入」タブに関する記事](#)では、導入の他の側面を順を追って説明しています。

アーキテクチャ

Workstationは、他のどのWalkMe実装とも似ています。その背景にはWorkstationがお客様のアカウントで識別するシステムGUIDがあります。

Workstationでは、お客様のアカウントであるシステムGUIDを使用して自動的に起動するために、ターゲットコンピュータに設定ファイル`ws_settings.json`を展開する必要があります。

そうでない場合Workstationは「Workstationポータブルアカウント」と呼ばれるWalkMeのデフォルトアカウントから開始します。

インストールファイルの取得

2022年9月現在、デスクトップ版のWorkstationは、WindowsおよびmacOSオペレーティングシステムをサポートしています。

Workstationインストーラは、以下の表に示す[WalkMeコンソール](#)からダウンロードできます：

OS	パッケージ名	目的	メモ
Windows	ユーザ [.exe]	プラグ&プレイバージョン。一括導入用ではありません	
Windows	システム [.msi]	エンタープライズインストーラ。一括導入用の設計	
Windows	マシン[.msi]	集中型インストーラ[Citrix]Windowsサーバー、およびその他のVDI向けの設計	このバージョンでは自動更新はデフォルトで無効
MacOS	インテル (.pkg)	1つですべてに対応 – あらゆる用途向けの設計	
MacOS	M1 (.pkg)	AppleのM1チップマシン用の設計	ユーザーがMacインストールのIntelバージョンを所有し、M1にアップデートする場合に自動更新 ITが手動で実行する場合は、最初にIntel版を削除する必要があります

設定ファイルの取得

前述のようにWorkstation インスタンスは、構成された必要なアカウントで起動するために、各コンピュータに設定ファイルが必要です。そうでない場合Workstationポータブルアカウントで起動します。

設定ファイルはJSONベースのテキストファイルで、[ws_settings.json]という名前の初期設定をWorkstationに提供します。

設定ファイルは、WalkMeコンソールからダウンロードできます。

ヨーロッパのお客様は、ws_settings.jsonファイルのデータセンタープロパティを手動で変更する必要があります。

Workstationの導入

インストーラと設定ファイルが使用可能になれば、導入プロセスに進むことができます。

設定ファイルの場所を確認する

Workstationは、次の場所から設定ファイル[ws_settings.json]を検索します。組織ポリシーに準拠する

ものを選択し、設定ファイルをそこに配置します：

OS	インストーラ	ファイルパスの設定	説明	例
Windows	.msi .exe	<installationDir>\.. または %localappdata%	インストールパス上の1つのフォルダ	C:\Program Files\WalkMe\
Windows	.msi .exe	%ProgramW6432%\WalkMe	WalkMeフォルダ内のプログラムファイル	C:\Program Files\WalkMe\
Windows	.msi .exe	<system drive>\..\WalkMe	システムドライブ内のWalkMeフォルダ	C:\WalkMe
MacOS	.pkg	/Users/Shared/walkme		

設定ファイルを配置することはWorkstationを取得して実行するための前提条件ではありません。設定の変更はどの段階でも行うことができます。変更は、Workstationを再起動するたびに行われます。

Workstationのインストール

インストールは組織によって異なりますが、それは主にIT部門の方法論とMDMソフトウェアによるものです。

.msiおよび.pkgインストーラは非常に簡単ですがWindowsマシンMSIはデフォルトで自動更新が無効になっています。

「マシン」インストーラで自動更新を有効にする必要がある場合は、次のmsiexecコマンドを使用して有効にします：

```
msiexec /i <msiPath> INSTALLLEVEL=3
```

組織のIT部門は、msiexecコマンドを使用してインストールパスを変更できます：

```
msiexec /i <msiPath> APPLICATIONROOTDIRECTORY="PATH_TO_INSTALL"
```

ユーザーモード

Workstationアプリケーションは、機能するための管理者特権を必要としません。そのため、セキュリティのベストプラクティスと最小権限の原則に従い、WalkMeはユーザーモードでWalkMe Workstation

を実行することを推奨します。

テスト目的のインストール

管理者特権を持つユーザーは、インストーラをダブルクリックしてインストールウィザードに従うことができます。作業が完了するとWorkstationがコンピュータにインストールされます。

MDMを介したインストール

MDM(「モバイルデバイス管理」)は、組織のデバイス全体にデスクトップおよびモバイルのアプリケーションを配布するために使用されます。

WorkstationはMDMと互換性があり、具体的には以下のリストでテストおよび検証されています：

MDMプロバイダー	OS	導入テスト時間	テスト出力
Jamf	MacOS	2021年3月	合格
Intune	macOSおよびWindows	2022年6月	合格
Mobile Iron	macOSおよびWindows	WalkMeでのテスト	合格
Workspace ONE	macOSおよびWindows		
Microsoft Intune	Windows		

MDMのインストールは、組織のIT部門のみが可能です。インストールが完了するとWorkstationは各従業員がデスクトップで利用できるようになります。

ヘルプ

アカウントエグゼクティブ(AE)、カスタマーサクセスマネージャ(CSM)またはテクニカルアカウントマネージャ(TAM)に連絡して、必要なサポートを受けてください。